

報道機関用

第137年会

講演ハイライト

SENDAI 2017

3月24日(金)~3月27日(月)

仙台国際センター、東北大学川内北キャンパス
東北大学百周年記念会館、仙台市民会館



公益社団法人 日本薬学会

目次

◆ ご挨拶	1
◆ 年会日程一覧	2
◆ 会場案内	8
◆ 系別一般学術発表演題数およびハイライト掲載数一覧 ..	13
◆ シンポジウム 講演番号について	13
◆ 一般学術発表 発表番号について	13
◆ シンポジウム キャッチフレーズ一覧	
特別シンポジウム、一般シンポジウム	14
大学院生シンポジウム	20
◆ 一般学術発表 キャッチフレーズ一覧	
化学系薬学	21
物理系薬学	22
生物系薬学	22
環境・衛生系薬学	23
医療系薬学	23
その他	25
◆ 一般学術発表 ハイライト要旨	26



ご挨拶

日本薬学会第137年会は、2017年3月24日(金)から27日(月)までの4日間、仙台市の仙台国際センター、東北大学川内地区を中心に開催されます。今年度は、年会テーマとして「復興と発展、薬学の未来へ」を掲げております。

受賞講演、特別講演（海外5件、国内5件）は例年同様ですが、今年の年会では、大隅良典先生のノーベル賞記念特別講演「酵母から始まったオートファジー研究」を予定しております。また、3年目を迎えた国際創薬シンポジウムでは、クライオ-EMや自動化など最新の創薬技術に関する特別講演やポスター発表があります。一般・大学院生シンポジウムは59件あり、この中には日米、日韓、そしてFIPシンポジウムの3つの国際シンポジウムも含まれています。今回の年会の一般口頭発表は約1,100題、ポスター発表は約2,430題となっており、基礎薬学や医療薬学に携わる研究者や技術者が「薬学の未来」を語り合う機会となることを願っています。

日本薬学会第137年会 組織委員長 遠藤 泰之

広報委員会は日本薬学会の様々な活動やメッセージを会員だけでなく、広く社会に認知していただけるよう努めています。日本薬学会の年会は、創薬から育薬まで、基礎研究から臨床現場まで、さまざまな分野で薬学に携わる人々が一堂に会し、情報を発信・収集したり交流したりする場となっています。本委員会では、会員の研究成果を報道関係者や一般の方々に知っていただくために、今年も組織委員会と協力し、発表予定の研究成果とシンポジウムの概要を、ハイライト集としてまとめました。

本冊子には、一般学術演題の中から、組織委員会の選りすぐりの発表が、研究分野ごとに掲載されています。各発表については、発表者の作成したキャッチコピーとハイライト要旨を、また、シンポジウムについてはオーガナイザーによるキャッチコピーを、広報委員が査読し、専門外の方にも理解しやすい内容で掲載しています。

日本薬学会は、「くすり」に関係する研究者や技術者が、学術上の情報交換を行い、学術文化の発展を目的とする学術団体です。本冊子が、薬学会の活動を皆様により身近に感じていただく一助となることを期待します。また、本委員会では「日本薬学会公式チャンネル」の開設を予定しております。薬学会ならびに会員に対する報道関係の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人日本薬学会 広報委員長 米持 悦生